

品質向上に資する製造環境の整備と量産体制の構築



実施事業の概要と成果

本事業では、品質向上に資する製造環境を整える目的で、小型ボトルリンサーと全自動ロータリーラベラーを導入した。機械導入と並行してコンタミネーション対策を実行し、結果として、課題であった異物混入が減少し、異物混入の発生率は約4.9%から約1.9%へ低減。洗瓶からラベル貼りに要する作業量も、約68%削減することに成功した。

導入前の課題

当社では古酒づくりに力を入れており、泡盛愛好家等から評価を受けている。県外での浸透はなされていない分、希少性を有している。沖縄県外への販路開拓を行うにあたり、出荷前の全数検査において、生産量の5%の割合で不良品が発生し、不良品の原因の90%が異物混入によるものとなっており、品質の向上に課題があった。売上は減少傾向にあるが、人手不足感から製造作業に追われ、営業時間の捻出に課題があった。

取り組みと成果

本事業では、品質向上を目的に小型ボトルリンサーと全自動ロータリーラベラーを導入。並行してコンタミネーション対策を行い、課題であった異物混入の発生率が約5%から約1.9%へ低減、洗瓶からラベル貼りに要する作業量も約68%削減できた。衛生管理教育や施設の改修も並行して進め、社員の意識改革もできた。製造体制の構築から営業展開に臨める体制が整った。



小型ボトルリンサー



全自動ロータリーラベル



万座毛限定の泡盛



本社

補助事業後の展開

補助事業後、品質体制が強化されたことから、商品によっては異物混入がゼロとなっている。製造人員が1名減少したが、製造商品を絞り、製造体制を維持している。現在は、土産店などの卸先と連携を深め、熱心なファンが多い古酒づくりに注力し、旧盆、お歳暮など贈答対応行うことで季節需要に対応している。また、地元資本のホテルを中心とした営業を強化し、急増している観光客に対応していく予定である。

今後の取り組みと展望について

本事業の成果により、営業体制を強化できたことから、2020年10月に開館した万座毛の施設に販売ブースを出店。古酒を中心とした販売ブースに、若者向けにラベリングした新商品を販売。コロナ禍で試飲による提供が難しいが、新たな販売先として取り組んでいく。



代表社員 佐渡山 誠

会社概要

事業者名：合資会社恩納酒造所

代表者：代表社員 佐渡山 誠

住所：沖縄県国頭郡恩納村恩納2690

資本金：1,050万円

従業員数：4人

電話番号：098-966-8105

FAX番号：098-966-8015

設立年月日：昭和48年7月7日

業種：飲料・たばこ・飼料製造業

URL：<https://manza.jp/company.html>

